



佐々木周子議員

## 次世代育成支援行動の推進

### 子育て支援策は

佐々木 末就園児家庭の交流の場「おひさまひろば」開設だけでは、支援の充実が図られているとはいえないと思います。

青少年健全育成の観点から、子育て支援施策についての考えを伺います。

町長 「おひさまひろば」は子育て支援室運営調整会議で運営しています。

多数のボランティアの参加もあり、地域での支援活動に結びついているのではと思っています。

この取り組みを中核として、地域社会全体で支援する、子育て環境整備を目指したいと考えています。

### 実施計画の推進は

佐々木 国の次世代育成推進法に基づき、平成十七年三月に「日野町次世代育成支援行動計画」が策定されているが、実施しなければ絵に描いた餅に終わってしまうのではと危惧しています。

本町に即した実施計画を策定する考えはありませんか。

### 町長 次世代育成支援行動計画は、それぞれの推進すべき施策において目標値を

定めており、可能な限り施策を推進しているところです。

行動計画の中で、今できることから取り組んでいけば、特に改めて実施計画を策定しなくても、計画に沿って実施することが、執行者に課せられた課題だと思います。

### 健康福祉課と教育委員会の連携はできているか

佐々木 次世代を担う子ども達の育成は、家庭はもとより、学校・地域社会で支えて行くことが不可欠です。

指導的立場にある、役場内の連携について伺います。

町長 教育委員会では子どもを含めた安心・安全を確保する地域防犯、生活安全パトロール、公民館活動の取り組み等々多岐にわたり事業を展開しています。

活動には、民生児童委員、保育所保護者連絡会が子育てという大きな視野の中で協力体制を構築されていると思っています。

今後さらに連携を強化し、

子育て支援をしていくことが大切と思っています。

### 子育て支援係の設置は

佐々木 子育て支援対策を円滑に進めていく為、支援係を設置してはと思います。が、その考えを伺います。

町長 財政状況もさることながら、職員数も非常に限られているので、係の設置には困難があります。

今の本町は係を設置するよりは、担当者をきちんと設け、一生懸命仕事をしていきます。

思った。

日野高 影山 達也

町長も議員の人も早口で難しかったからあまり理解できなかったけど、議会を傍聴して日野ではどんなことが問題になっているかがわかったし、赤字も二億五千万円から二千五百万円までにした町長はすごいと思いました。

けど、そこまで赤字を減らせたのは町長だけでなく町民や議員達も一体となって頑張ったからで、とても凄い事だと思いました。

日野高 木村 広輝

事前に発言することを紙に書いて読んでいただけだったので、つまらなかった。

国会みたいに熱くなるかと期待していたけど、みんな静かだったので残念だ。紙に書いていないことでも答えればいいのと思った。

日野高 林原 麻貴

今回、地域研究という授業で日野町議会を傍聴しました。「道づくり」や「山間部にも携帯の電波が入るようにアンテナを立てる」という案などが出ていましたが、それらの

(次の頁へ続く)



日野中学校文化祭で熱演